

3年後に年間2万棟規模目指す

ピュアパイル工法普及で振興会

ピュアパイル工法普及振興会は、全国の指定施工会社20社による経営者懇談会を開催した。柱状改良工法に替わる、新たな戸建住宅用地盤補強工

法として、「ピュアパイル工法」の普及促進を図るものだ。3年後に年間施工棟数2万棟、200億円規模を目指す。

ピュアパイル工法は、従来の柱状改良工法のよ

がないのが特徴。セメントが含まれた掘削残土の産業廃棄物が発生しないため、環境に優しく処理コストも不要となった。

同工法は、2010年に(財)日本建築総合試験所で性能証明を取得後、11年4月から全国販売を開始。12年10月に施工実績1千棟を達成した。